

令和7年度 博物館長会議

博物館振興を担う中間支援組織の役割

(日本博物館協会の事業の概要)

令和7年7月2日

日博協は 2028年に百周年を迎えます

これまで歩んできた100年を振り返り

棚橋源太郎が目指した

博物館法制度の整備を基本とする

日本の博物館の振興の理念を再確認し

中間支援機能を担う組織として

博物館がより良い未来のために

期待される役割と責任を果たせるよう

協会の機能を強化し

博物館を支援できるよう

努力を続けます！

博物館を支援する5つの柱

これからの博物館に求められる役割と機能

文化審議会答申「博物館法制度の今後の在り方について」(2021年12月)

「守り、受け継ぐ」

: 収集・保管

「わかち合う」

: 調査研究・情報発信

「育む」

: 教育・愉しむ・創る

「つなぐ、向き合う」

: 連携・課題解決

「営む」

: 組織・財源・人材

博物館の基本的な姿 → 博物館法

「博物館の設置及び運営上の望ましい基準」改訂が進行中
(文化審議会文化施設部会 博物館ワーキング・グループ)

＊ 施行3年目を迎えた改正博物館法（登録制度）の現状

新登録制度による申請・承認施設数 2 5 0 施設
（令和 6 年度末まで。審査事務を行なった自治体からの報告件数）

	登録博物館					指定施設	類似施設	新設	
	旧登録 (再申請)	新登録				旧相当施設 (再確認)			
		旧相当施設	類似施設	新設					
令和 5(2023)年度	48	13	15	4	80	3	5	2	10
令和 6(2024)年度	105	17	22	0	144	14	2	0	16
	153	30	37	4	224	17	7	2	26

* 再登録申請の経過措置期間終了まで2年半 (令和9(2027)年度末日：令和10(2028)年3月31日)

- ・ 期間内に申請手続きを終了させておくことが必要
- ・ 自治体の審査事務の負荷が増え審査が滞る懸念
- ・ 登録、指定施設になることへの現場の躊躇？
 - 申請事務の負担感
 - 登録・指定のメリット感が薄い

* 法律を運営の改善の助けとして活用する (法律で規定されないところに行政は及ばない)

- ・ まずは法律で規定される対象に（登録博物館・指定施設）
- ・ 法律に示された博物館の指針を基準に自らの博物館の実態を棚卸し
 - 運営方針の確認、自己点検、問題点の抽出、課題の設定、改善への取り組み
 - 法律や制度自体についての検証・評価

＊博物館法制度の充実のために必要な支援

・博物館登録制度の拡充に向けた支援の充実

- 文化庁委託事業等の推進による登録制度拡充への周知・理解促進
- 申請を希望・検討する博物館への助言
- 登録審査事務を担う自治体への情報提供、助言
- 有識者候補者リストの更新・充実
- 候補者への情報提供、支援

・博物館振興団体（日博協・館種別団体、関連学協会）の連携促進

- 多様な館種ごとの状況を踏まえた博物館制度の充実への基盤形成
- 法制度、博物館政策について議論する場の充実
- 現行制度の課題の整理、改善策の検討
- 現場の課題と博物館に関する学術団体との連携
- 政策提言、中間支援機能の強化

令和 7 年度の日博協の事業 トピックのご紹介

I 普及啓発事業（情報発信・課題共有・提言）

- 第32回全国博物館長会議（共催：文化庁）

- * 7月2日(水) 東京・文部科学省講堂で開催

- * テーマ：「守り、受け継ぎ未来を創る博物館の営み」

- 第73回 全国博物館大会

- * 11月19日(水)～21日(金) 大阪市（大阪市中央公会堂 他）で開催

- テーマ：「持続可能な世界と博物館の発展

- ～未来・社会・ウェルビーイングに貢献する博物館～」（仮案）

- 月刊誌『博物館研究』

- * 統計、新館・イベント紹介、特集、ICOM・海外情報

- 投稿原稿もお待ちしております

II 博物館支援事業（機器支援・情報発信の強化）

・ 全国の博物館の運営支援

- * 車いす、ベビーカーの配布（令和6年度：車いす90台、ベビーカー78台）
令和7年度：車いす(65台)、ベビーカー(65台)（日本宝くじ協会助成）

・ 博物館のリスクマネジメント体制づくりへの支援

- * 会員館園を構成員とする博物館の傷害・賠償保険の加入

- 指定管理者向けプラン／お見舞金支給 など
- 展示資料等、動産保険についてもお問合せください

・ ホームページ機能の強化

- * 「博物館への寄付ポータル 未来を創る仲間づくり！」オープン

https://www.j-muse.or.jp/donation_portal/

ご活用ください！

- * 会員館園相互の情報交換機能の充実（パスワード取得館約 800館）

博物館を支える人々の輪を広げ、ともに未来を考える

博物館は過去の歴史や文化を次世代につなげ、ともに考え、未来を創るための大切な社会資本です。博物館が社会から期待される役割を果たすためには、その活動をさまざまな形で支える仲間を増やし、支援していく仕組みづくりが必要です。多様な資金調達（ファンドレイジング）の取り組みも、博物館活動の持続的な充実に不可欠で、多様な寄付をはじめ、さまざまな方法で支援することができます。

人と文化をつなぎ、ともに未来を創るための博物館の活動にお力をお貸しください。



博物館のクラウドファンディング紹介

広く社会に支援を呼びかけるクラウドファンディングは資金調達にとどまらず、博物館やその活動に共感するファンや仲間を広く増やすことができます。また、博物館活動の価値や魅力を発信することで、その意義を社会と共有することができます。

日本博物館協会は、クラウドファンディングに取り組む博物館を応援することで、博物館が地域の未来に貢献できるお手伝いをしていきます。

（画像やテキスト部分をクリックすると、各館のホームページなど外部ページに移行します）

開けシャッター！
相川考古館
NEXT GOAL
1000万円
への挑戦

地域の文化財を残す活動を続けて100年
新たな課題に挑戦します

クラウドで第一目標
500万円 突破!

開けシャッター！相川考古館の挑戦 江戸時代からの商店が残る街の建物リノベーション

ソーシャル... aikawakou...

SUCCESS

現在 5,587,828円	参加者 221人	残り 終了
------------------	-------------	----------

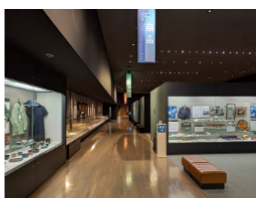
博物館への寄付をお考えの方へ

[一般寄付](#)[会員制度](#) ➡[ふるさと納税](#) ➡[物品寄付](#) ➡

一般寄付

広く一般の皆様へ寄付を募っている博物館をご紹介します。

(画像やテキスト部分をクリックすると、各館のホームページなど外部ページに移行します)



明治大学博物館

明治大学ミュージアム「文化発信」資金

寄付期間 通年募集しています。

明治大学博物館、明治大学史資料センター及び明治大学阿久悠記念館（以下「ミュージアム」）では、特別展・企画展の実施、常設展の更なる充実等のため、個人・団体を問わず広く皆様に、明治大学ミュージアム「文化発信」資金へのご支援をお願いしています。老若男女を問わず誰もがアクセスしやすく、先人の知恵に学ぶことができるよう努めてまいりますので、皆様からのお力添えをよろしくお願いいたします。

- (1) ミュージアムに係る展示活動の助成
- (2) ミュージアムに係る教育普及活動の助成
- (3) ミュージアムに係る研究活動の助成
- (4) そのほか、ミュージアムの目的を達成するために必要な事業



伝国の杜（米沢市上杉博物館・置賜文化ホール）

米沢市上杉博物館

米沢市上杉博物館等の施設設備と事業の充実へのご支援のお願い

寄付期間 通年募集しています。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」や国宝「上杉家文書」などを収蔵する米沢市上杉博物館は、令和8年に開館25周年を迎えます。展示等の充実を図り、地域文化の創造や広域交流拠点としての役割を果たしていくため、皆様のご支援をお願いいたします。なお、ご寄付は、博物館が収蔵している美術作品を活用した事業等を行っている「よねざわ市民ギャラリー」等の施設の事業にも当てさせていただきます。詳しくは、HPをご覧ください。（画像をクリック）



滋賀県立琵琶湖博物館

滋賀県立琵琶湖博物館「琵琶湖博物館応援寄附」

寄付期間 通年募集しています。

琵琶湖博物館の理念にご賛同いただき、ご支援をお願いいたします。滋賀県外に本社がある企業の場合は、企業版ふるさと納税が適用されます。



目黒寄生虫館

博物館の維持と発展のための寄付を受け付けています

寄付期間 通年募集しています。

目黒寄生虫館は創設者で初代館長・亀谷了の「啓発活動にお金を取ってはならない」という意志を受け継ぎ、70年以上にわたり入館無料の方針を維持しています。しかし、博物館の維持には基本財産の運用益だけでは補えないため、広く皆様からご寄付を受け付けています。館内には募金箱があります。また、銀行振込、郵便振替、PayPal、クレジットカード送金、SoftBankつながる募金など各種決済方法をご用意しております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

・大規模災害等への対応

＊日博協「博物館絆プロジェクト」：

大規模災害等で被災した博物館・文化財への支援

◎ 能登半島地震；

＊現地での救援活動への職員派遣

・文化庁から国立文化財機構 文化財防災センター(ぶんぼう)に
委託された救援事業への協力

会員博物館への呼びかけ→参加希望者リスト→参加者募集→

ぶんぼうとの調整→参加者が直接ぶんぼうと手続き（登録・旅費支弁 等）

★派遣協力を申し出ている施設：57施設（95名）

★派遣実績：延べ173人

◎ 現在継続中の被災文化財修復活動への支援の継続

＊被災資料の安定化処理作業への参加者派遣 その他、情報発信事業での連携 など

＊募金・寄附金の募集（今後の大規模災害への対応）

＊大規模災害等の救援等の事業に職員を派遣できる
会員館園の登録依頼(86施設)

III 調査研究事業(博物館振興・制度的課題への取組)

・博物館法改正と今後の博物館制度の在り方

＊令和7年度 文化庁博物館機能強化推進事業

「新登録制度推進事業及び在外派遣研修事業の企画・運営」の受託

- 登録博物館制度の拡充
- 学芸員等の海外研修、国際会議への参加支援

・博物館総合調査

- ＊ 大部な調査へのご協力有難うございました。
- ＊ おかげさまで2300館以上から回答をいただきました。
- ＊ 7月中を目途にデータクリーニング、集計を進め、本年中に概要データの公開を目指します。

IV 資質向上事業（課題検討・学芸員等職員のスキルアップ）

・研究協議会（研修会） ・ シンポジウム等の開催

- * 資料の収集・管理、収蔵庫問題
- * 学芸員の人材育成
- * 持続的経営基盤の整備 etc.

・ 顕彰

- * 博物館への功労表彰：永年勤続、博物館への寄附・寄贈
- * 「博物館研究」掲載の論考対象：棚橋賞
- * 各館の活動報告から選考する博物館活動奨励賞
- * 日本博物館協会賞
 - 第5回受賞施設：小樽市総合博物館
 - 第6回受賞施設：伊丹市昆虫館

• 美術品等梱包輸送技能取得士資格認定事業

- * 背景
 - 高度な技術を持つベテラン職員のリタイア（輸送業界）
 - 学芸員の資料取扱い技術の低下
 - 美術品の国家補償制度の導入等への対応
- * テキストとして『博物館資料取扱いガイドブック』（2訂）を刊行
- * 平成26年度から3級～1級試験を本格実施
令和6年度現在の有資格者数（3級；546名、2級；280名、1級；39名）
- * 当面は輸送梱包業者の社員を対象に実施
 - 安定した試験実施体制の確立
 - 審査できる専門家の確保
 - 制度全体を維持する資金的基盤の整備
 - 学芸員に対する研修・講習実施の検討



V 国際交流事業（海外博物館との交流・連携・情報発信）

・国際博物館の日（5月18日）記念事業

＊ 2025年度；

「 The Future of Museums in Rapidly Changing Communities
（急速に変化するコミュニティにおける博物館の未来） 」

無料（減免）開館、記念品贈呈、地域連携イベント等 約300施設

＊ 記念シンポジウムの開催（5月18日：東京国立博物館）

・ICOM倫理規程の改定

＊ 最終検討におけるキーワード：

「社会」「コレクション」「プロフェッショナリズム」「教育」「ガバナンス」

＊ 採択後、日本の「博物館の原則」「博物館関係者の行動規範」の改定検討

・ICOMドバイ大会 11月11～17日

＊ Intangible Heritage（無形遺産）

＊ Youth Power（若い世代のチカラ）

＊ New Technologies（新たな技術）

博物館が
未来への責任を果たすために
日博協はがんばります！

ご清聴有難うございました